

2018

アドリアン・コックスと
仲間たち in 東京



Adrian Cox und Musikfreunde in Tokyo 2018



村田 悠果
Yuka Murata
(ピアノ)



神村 淳子
Junko Kamimura
(フルート)



末 和子
Kazuko Sue
(ソプラノ)



松浦 恵
Megumi Matsuura
(メゾソプラノ)



田中美千子
Michiko Tanaka
(ピアノ)

PROGRAM

ドビュッシー：小組曲 (連弾)
C. Debussy : Petite Suite

ピアノ：村田 悠果

Hindemith：フルートソナタ
P. Hindemith : Sonate für Flöte und Klavier

フルート：神村 淳子

フォーレ：エレジー 作品 24
G. Fauré : Élégie Op.24

シューベルト：「シルヴィアに」「最初の喪失」「ます」
F. Schubert : "An Silvia" "Erster Verlust" "Die Forelle"

R. シュトラウス：「解き放たれて」「我が思いの全て」
R. Strauss : "Befreit" "All mein Gedanken"

ヴォルフ：「捨てられた娘」「春だ」
H. Wolf : "Das verlassene Mägdlein" "Er ist's"

ソプラノ：末 和子

シューマン：歌曲集「女の愛と生涯」作品 60 より 他
R. Schumann : Frauenliebe und -leben Op.60

メゾソプラノ：松浦 恵

シューベルト：幻想曲 へ短調 D940 (連弾)
F. Schubert : Fantasie f-moll D940

ピアノ：田中美千子

2018年11月15日《木》19:00開演 (18:30開場)

JT アートホール アフィニス ※裏面地図参照

全自由席 ¥4,000 ※未就学児の方のご入場はご遠慮ください。

前売 / ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 Web チケットの王様 <http://www.soleilmusic.com>

主催●ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 <http://www.soleilmusic.com>

後援●オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム・月刊「音楽現代」・Studio Shimizu

Adrian Cox und Musikfreunde in Tokyo 2018

■村田 悠果 (ピアノ)

上野学園大学演奏家コース卒業。ピアノを今野尚美、田中美千子、長松谷幸生、柳澤美枝子の各氏に師事。第23回 彩の国埼玉ピアノコンクールE部門 入賞。第15回 大阪国際音楽コンクール アンサンブルコース2台ピアノ部門 第3位(第1位なし)。ザルツブルクにてモーツァルトテウム音楽大学夏期国際アカデミーに参加。第9回 横浜国際音楽コンクール アンサンブルコース2台ピアノ部門 入賞。第27回 日本クラシック音楽コンクール アンサンブル部門 混合楽器の部 入選。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2014 地上広場キオスクコンサート、同2018丸の内エリア oazo おおひろばコンサート出演。第151回 ソレイユ・ジョイント・リサイタル出演。

■神村 淳子 (フルート)

武蔵野音楽大学卒業。京都フランスアカデミーにてR. ギオー氏のマスタークラスを修了。ローザンヌ・ウィーン等にて、A. アドリアン氏、W. トリップ氏のレッスンを受けるなど研鑽を積む。91年99年に東京ニューシティ管弦楽団と共演、93年、98年、04年にソロリサイタル開催。コックス氏とのジョイント・コンサートやリサイタルでの共演など、ソロ・室内楽で国内において数多くの公演に出演。また、95年、99年、07年、14年に、ルーマニア国立ジョルジュ・エネスコ・フィルハーモニー他との共演。10年より、ブルガリアのオーケストラの定期公演にて度々出演。メンバーとのブルガリア各地での室内楽公演などの海外公演を行う他、フルート・アンサンブル「ムジカ・ヨコハマ」にて、チェコ・ドイツ・ブルガリア・ハンガリー等の5回の海外公演に参加。02年、03年に、ズイホー賞特別奨励賞受賞。現在、カルチャー三ツ境講師、フルートアンサンブル「ムジカ・ヨコハマ」メンバー。

■末 和子 (ソプラノ)

女子聖学院を経て、国立音楽大学声楽科卒業。声楽を莊智世恵、田中淑恵、リリー・カラー氏に、ピアノを小池和子氏に師事。アドリアン・コックス氏とは、2014年、2016年、2017年に共演し好評を博す。第4回日本クラシック音楽コンクール奨励賞受賞。ハープとのデュオコンサート、コール・シオン、ニュートンカンパニーはじめ多くの合唱団でソリストを務める。2003年から、小池和子氏主宰のコンサートのこまばエミナースを皮切りに毎年出演。2011年からプロムナードコンサート、オータムフェスティバル、母と子のおしゃべりコンサート、ピアノとのふれあいコンサート等数々のコンサートに出演、教育委員会主催のフェスティバル、ムジックアーベント等企画にも携わる。座間市演奏家連盟会員。

■松浦 恵 (メゾソプラノ)

山形県立山形北高等学校音楽科卒業。山形大学地域教育文化学部文化創造学科音楽芸術コース声楽専攻卒業を経て、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻(独唱)修了。第4回東京国際声楽コンクール第一位、および東京新聞賞受賞。第3回日光国際音楽祭声楽コンクール準大賞(第二位)受賞。大学院在学中、学内で推薦され藝大モーニングコンサートにてR. ワグナー「ヴェーゼンドク歌曲集」を澤和樹指揮、藝大フィルハーモニアと共演。宗教曲ではベートーヴェン《第九》、モーツァルト《雀ミサ》KV.220、《ミサプレヴィイス》KV.192、J.S. バッハ《マニフィカート》、M. ハイドン《レクイエム》などのアルトソリストを務める。メディアでは、BS-TBS「日本名曲アルバム」にてドリームシンガーズおよびEnsemble OASISのメンバーとして出演。これまでに声楽を藤野恵美子、藤野祐一、寺谷千枝子、永井和子各氏に師事。

■田中美千子 (ピアノ)

東京藝術大学附属音楽高校、東京藝術大学を経て同大学大学院修士課程修了。ドレスデン音楽大学大学院修了、ドイツ国家演奏家資格取得。その後2年間ドレスデン音楽大学非常勤講師を務める。在独中、ドレスデン国立歌劇場においてソリストとして大学オーケストラと共演したほか、各地でコンサートに多数出演。マルクノイキルヒェン国際器楽コンクールにおいて公式伴奏者を務め最優秀伴奏者賞受賞。帰国後、東京藝術大学大学院室内楽科演奏助手および非常勤講師を歴任。1995年の東京および名古屋にてソロリサイタルデビュー以来、リサイタルを定期的に開催。また2006年より「浦川宜也 & 田中美千子 室内楽シ

リーズ」を定期的に開催。いずれも音楽誌上取り上げられ、高く評価されている。国内外の演奏家との共演も多く、現在ソロ、室内楽の両分野で幅広く活躍している。

■アドリアン・コックス Adrian Cox, piano

ロンドン生まれ。ロイヤル・ノーザン音楽大学、ウィーン国立音楽大学を首席で卒業後、オーストリアを中心に、ヨーロッパ全土、アメリカ、北欧、アジア等で主に室内楽ピアニストとして、ウィーンフィルコンサートマスター、首席奏者、アンサンブル・ウィーン・ベルリン、ウィーン国立歌劇場歌手等とコンサート、レコーディング、テレビ・ラジオの収録等を行い、揺るぎない地位を確立、共演者から絶大なる信頼を得る。ザルツブルグ音楽祭他多数の音楽祭にも毎年招待される。スイスのレンクで開催の国際夏期セミナーでは10年以上室内楽の講師を務め、教育者としても高く評価される。1985年初来日以来ウィーンフィル奏者とのツアー他、日本人アーティストとの共演等で広く知られる。2002~04年PMF国際音楽祭(札幌)にウィーンフィルトップメンバー等とともに招聘される。ウィーン国立音楽大学教授。

コックスが共演した演奏家は、P. シュミードル、E. オッテンザーマー、A. プリンツ、N. トイブル、R. ヴィーザー、松本健司(以上Cl.)、W. シュルツ、W. トリップ、D. フルーリー(以上Fl.)、M. ガブリエル(Ob.)、G. ヘッツェル、W. ヒンク、B. ビベラウアー、U. ダンホーファー、大谷康子(以上Vn.)、F. ドレシャル、A. スコッチチ、M. シュトッカー、M. ワルシャフスキー、木越 洋、北本秀樹、安田謙一郎、藤村俊介(以上Vc.)、ウィーンフィル首席奏者によるウィーン木管アンサンブルや、木管五重奏団クインテット・ウィーン、ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団、ウィーン国立歌劇場歌手のR. シュトライヒ、B. ポシュナー(Sop.)、そしてアンサンブル・ウィーン・ベルリン他多数。



JT アートホール アフィニスご案内

東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F TEL.03-5572-4945

虎ノ門駅(東京メトロ銀座線)

3番出口より、外堀通りを溜池山王方面へ直進、徒歩4分。

溜池山王駅(東京メトロ銀座線・南北線)

9番出口より、外堀通りを虎ノ門方面へ直進、徒歩5分。

霞ヶ関駅(東京メトロ日比谷線・千代田線・丸ノ内線)

A13番出口より桜田通りを虎ノ門方面へ直進し、外堀通りを溜池山王方面へ直進、徒歩7分。

